

平成20年度 事業計画

上田市地域振興事業団の設立趣旨及び、寄附行為の目的に沿い、コミュニティの育成を図るとともに、地域住民の文化の向上と福祉の増進に関する事業を行う。

又、公共施設の管理運営の受託を通して、地域交流活動や文化振興等地域社会の発展と住みよい生活環境の創造に寄与するため、各施設の設置目的に沿いその特色を生かした事業を推進する。

理事会、評議員会の開催

- 1 理事会（任期 平成19年4月1日～平成21年3月31日）
 - ・平成20年5月 平成19年度決算承認等について
 - ・平成21年3月 平成21年度事業計画、予算（案）承認等について
- 2 評議員会（任期 平成20年4月1日～平成22年3月31日）
 - ・平成21年3月 平成21年度事業計画、予算（案）等の審議

公共施設の指定管理

公共施設の適切な管理と利用者の立場に立った運営を推進する。

- 1 上田地域広域連合から上田創造館の指定管理
- 2 上田市から技術研修センターの指定管理
- 3 上田市から農林漁業体験実習館の指定管理

公共施設の受託管理

公共施設の適切な管理と利用者の立場に立った運営を推進する。

- 1 上田市から農業バイオセンターの管理及び研究開発業務受託
- 2 上田市からマルチメディア情報センターの地域情報化業務受託

喫茶及び販売事業（自主事業）

施設利用者の利便性を図るとともに、ふれあいと憩いの場を提供する。

- 1 喫茶事業
 - ・上田創造館喫茶（コパン）
 - ・マルチメディア情報センター喫茶（ほーむページ）
- 2 販売事業
 - ・農林漁業体験実習館入浴用品等の販売

指定管理事業

1 コミュニティ育成に関する事業

上小地域を中心としたコミュニティ活動の推進を図る。

- (1) 親子ふれあい物づくり体験事業として、折紙教室、ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス、きり絵教室、伝承遊びの開催
- (2) 版画の手法を取り入れた蔵書票作り教室の開催（ステンシル、木版等）
- (3) 蚕都上田にちなみ蚕の飼育、地域団体の協力を得て、昔話語りの会、納涼会、七夕飾り、クリスマス飾り付けの実施
- (4) 絵手紙展、きり絵展、蔵書票展、上田創造館利用文化団体作品発表会の開催
- (5) 星空コンサートを年3回に増やし、プラネタリウムで語りの会や天文講演会の開催
- (6) エントランスでは、地域で活躍しているアマチュアの音楽発表の場としてミニコンサートを開催
- (7) 影絵教室を年間通して、子ども達が参加出来るようにし、基礎から作り上げて演じるまでを体験する。

2 文化振興に関する事業

地域の伝統・伝承的民俗行事等の紹介や教育、文化活動を支援し、地域の芸術文化の発展に努める。

- (1) 地域に伝わり、伝承的財産として保存されている行事等の紹介や展示

- 「企画展 上田地域の魔よけ信仰展」「道祖神まつり展」「凧展」「しめ縄づくり」の実施
- (2) 文化団体等との共催による美術展を開催し、展示施設等の有効利用と利用促進を図る。
「東信(上小)美術展」「農民美術作品展」「陶磁展」「水彩画展」「文化講演会」
「書道展」「水墨画展」「上小地域作家作品展」「写真展」の開催
- (3) 児童生徒の芸術文化活動への支援
上小地域小中学校児童生徒作品展(絵画・書道・立体作品)の開催

3 上田創造館

当館は、上小地域の児童科学館と地域のコミュニティ育成、芸術文化振興の複合施設として建設されましたが、科学館部門でみると小中学校の天文、物理、生物等の科学教育の補助的な施設と考えられており学校利用が中心となっています。

今後も設立趣旨に沿うよう鋭意努力していきたい。

又、昨年度から初めての試みとして「上田創造館おもしろ科学少年団」活動に取り組み、参加者、保護者に非常に好評で上田市、東御市或いは、マスコミ等でも注目されている。新年度は、上田地域広域連合子ども未来21事業の予算により更に充実した活動として位置づける予定である。

貸し館部門については、上田市内のイベントホールの廃業等もあり、利用率が伸びている。

今後は、現状を詳細に分析しながら指定管理者として施設の適正管理、貸し館部門の利用促進に努めていきたい。

- (1) プラネタリウムや天体望遠鏡を活用した天文学習の開催と推進
- (2) 園児や小中学校の学習教室の開催
- (3) 学校週休2日制に伴う児童生徒の校外学習教室の開催
- (4) コミュニティの育成に関する事業
- (5) 文化振興に関する事業
- (6) 各種パソコン教室の開催
- (7) 児童、生徒の「上田創造館おもしろ科学少年団」の更なる充実と拡大
- (8) 市立図書館の分室、学習室としての活用
- (9) こども未来21事業の取り組み
- (10) 夏休み「サイエンスフェスティバル・きみが月へ行く日」の開催
- (11) 創造館主催事業のボランティア発掘と養成事業
- (12) 大人の科学クラブ(ダビンチクラブ 仮称)の創設
- (13) 星空案内人(星のソムリエ)講座の開催・・・「星空観望会ボランティアの養成事業」として
- (14) 幼児と保護者の美術講座の創設(地域の作家の協力を得て行う予定)

4 上田市技術研修センター

利用者の拡大を図る為、利用者からのアンケート結果をもとに利用しやすい施設への改善に今後も努めていきたい。

平成19年度に、上田市により冷暖房設備の改修が行われ、また、当事業団として寝具の更新を行う一方、宿泊利用者の拡大を図るため、日曜祝日についても受け入れをはかり、効果が出ている。

平成20年度については、さらに宿泊利用者の拡大を図ると共に、設備の更新を行い、火災予防等の利用者安全確保の為、職員の訓練も併せて実施する。

5 農林漁業体験実習館(室賀温泉ささらの湯)

山間の緑豊かな静けさの中、地下1,500mから自噴する化粧水の湯が肌をしっとりスベスベにし、湯量が豊富で天然温泉100%のお湯だからこそ、自信を持って利用者の皆様に満足していただけるサービスと、笑顔でお客様をお迎えし、魅力ある温泉施設として営業努力に励み、農村と都市との拠点施設として、環境整備と管理に努め、温泉資源を活用した地域に密着した事業の展開を推進する。

- (1) 自主事業の企画・実行（ガーデニング教室、体験教室等）
- (2) 地域との連携を図る各種イベント等の実施（ほたる祭、七夕まつり、盆踊り大会、きこの研修会、温泉まつり、もちつき・しめ縄作り体験等）
- (3) 情報・文化の交流を深めるギャラリーの活用（写真展、絵画展、生け花展等）
- (4) 別所相染閣が平成20年度にオープンする事から、利用者減が予想される為、利用者減を防ぐよう職員一丸となって、サービス向上に努める。
- (5) 利用料金制導入、料金改定に伴い、休館日を毎週木曜日から第2・4木曜日に減らし、サービス向上に努める。

受託事業

1 農業バイオセンター

トルコギキョウ、スターチス、花壇用等の苗生産については、優良な品種と良質な苗生産に努める。

さらに、市民要望や市役所各部、各課の取組みの中で、当施設が協力できる業務があれば積極的に取り入れたい。

- (1) 試験研究事業
 - 人為交配による新品種の育成
 - ・トルコギキョウ、スターチスの新品種の育成
 - ・その他花卉の栽培試験
 - 松くい虫に抵抗性のある赤松の大量増殖試験
 - 交配種子の選抜試験
 - トルコギキョウ、スターチスの選抜試験
 - 地大根（山口、うえだみどり大根）の品種改良
- (2) 優良品種、在来品種、貴重植物の保存、増殖事業
 - 塩田地区特産大豆（コウジイラス）
 - 山口大根原種
 - うえだみどり大根原種
 - モイワナズナ（長野県絶滅危惧種）
 - シナノナデシコ（貴重植物）
 - オオマツヨイイサ（月見草）
 - ユウスゲ
- (3) 実用化試験事業
 - 丸子地区特産リンドウ母樹の培養、増殖
 - トルコギキョウ（だるま、アプリコット、ラブソング、紫の郷、紅の郷、ラムレーズン、カブキブルー他）の品種特性調査
 - 健康補助植物（ルバーブ、バジル、フェネル、コウジイラス等）の検討
- (4) 育苗試験事業
 - 育苗利用組合、JAの依頼を受け育苗から配苗まで
 - ・トルコギキョウ（約130万本）
 - ムラパス、ラベンダー等の箱巻き、エクローサ等のプラグ苗、エクローサグリーン等の冷房苗
 - ・スターチス（約2万本）
 - イエローバーディー、ロマンチックブルー等のメリクロン苗
 - ・キンギョソウ他（15万本以上）
 - 公園緑地課の依頼による花壇苗育苗（プラグ苗約9万本）
- (5) 栽培指導に関すること
 - ガーデニング教室への講師派遣
 - 育苗指導

2 マルチメディア情報センター（メディアランドUEDA）

「市民と行政がいつでも結ばれる情報快適都市・上田」を基本方針とする「上田市情報

化基本計画」を踏まえ、「市民協働による情報化社会の実現」に向け、地域情報化を推進する拠点として事業の充実を図る。

また、次代を担う児童生徒に対する情報モラルや情報活用能力の向上を図るため学校教育の情報化を支援するとともに、ネットワークセンターとしての役割の強化を図り、情報化社会の利便性の向上に努める。

(1) 人材育成事業

マルチメディア情報センターでは、情報技術を活用した表現力の向上や個性を引き出す事業を展開してきた。また、各種セミナーの受講者はこれまでの累計で4万8千人を超え、一般市民のICT（Information Communication Technology）活用の底上げに大きな役割を果たしてきた。ここ近年の情報化の進展に伴い社会生活が便利になった反面、個人情報情報の漏洩や情報を悪用した違法行為、有害情報が氾濫する中、様々な情報を正しく判断する能力の育成が必要となっている。

学校教育の情報化並びに、ICTを活用した生涯学習推進の支援

情報モラル、メディアリテラシーの向上

ICTを活用した表現力の養成

地域企業のICT高度活用の支援

(2) 地域個性の情報発信

これまでに蓄積されたコンテンツを情報発信するWebサイトは「内容が充実した全国屈指のサイト」として評価されているほか、職員による自主制作ビデオ映像も全国規模のコンクールで入賞するなど地域の個性を記録、保存することに力を入れている。それらを有効かつ多用途に利用することにより「活力ある上田」を積極的に情報発信する。

地域の貴重な文化資産を記録、保存、多用途に活用

蓄積されたコンテンツを活用した効果的な情報発信

(3) 情報活用支援センター機能の充実

国は2010年の次世代ICT社会の実現に向けた中期ビジョンを策定し、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークを簡単に利用した便利な社会を目指している。上田地域の高度情報化施設としてネットワークの中心となるマルチメディア情報センターの一層の機能強化を図り、情報技術を活用する支援センターとしての機能を充実させる。

市民団体との連携

市民ICT相談の充実

教育系ネットワーク（うえだ学びの森ネット）等の運用管理

(4) その他

施設の利用者増を図るための積極的なPR活動を行うとともに、映像の上映会やイベントを開催する。